

第5学年2組 図画工作科学習指導案

平成28年11月29日（火）第4校時

在籍児童数 男子14名 女子17名 計31名

指導者 山岸 泉

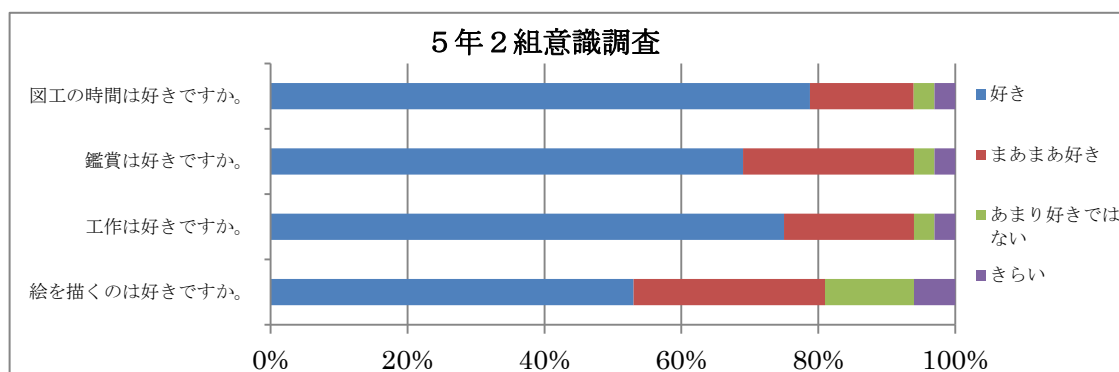
1. 題材名 「アートかるたで楽しもう！（鑑賞）」
～見て、感じて、話し合おう～

2. 題材について

（1）児童の実態

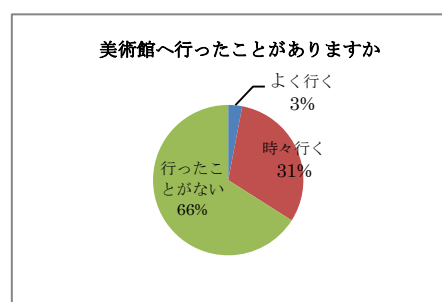
本学級の児童は図画工作科の授業をととても楽しみにしていて、ほとんどの児童が図工は好きと答えている。10月に実施した意識調査の結果は、以下〔資料①〕の通りである。工作と鑑賞は、「好き」「まあまあ好き」を含めると9割以上の児童が「好き」と思っている。そして、絵を描くことに関しては、若干苦手意識がある児童が多いことがわかった。

〔資料①〕



4月からの鑑賞活動では、友だちの作品のよいところを見ることを中心に行ってきた。鑑賞が「好き」と答える理由として、友だちの作品を見ると「発見がある」「自分が気付かなかったことを学べる」「参考になる」「作った人の思いや工夫が知れる」など積極的な意見を挙げている。一方、きらいな理由としては、「ただ見ているだけでつまらない」「みんなの作品が上手だから」と見る観点が分からなかったり、自分の作品と比べたりして抵抗を感じてしまっていることがわかった。

〔資料②〕



また、普段の生活の中で美術館に行ったことがある児童は3割程度〔資料②〕で、半数以上の児童が美術館に行ったことがないと答えており、芸術作品を鑑賞する機会は少ない。今回、授業で芸術作品に触れる鑑賞は初めてとなるため、児童たちが身近に感じられるようアートカードを用意し、楽しく鑑賞できるようにした。

また本学級の児童の特徴として、活発な男子とおとなしい女子ということが挙げられる。他教科の授業では、発言する児童が偏ってしまっている傾向があり、自分の考えを伝えることに苦手意識を感じている児童も多い。主体的に活動する一つ的手段として、鑑賞をゲーム化することで児童たちのやる気を喚起させることができるが、夢中になると揉め事になりやすいため、しっかりルールや目的を

理解させた上で活動させたい。児童たちの意欲を大事にし、自分の思いが自信を持って伝えられ、鑑賞することの楽しさを十分味わわせたいと考える。また、お互いの考えを素直に受け入れられるような温かい雰囲気の授業にしていきたい。

(2) 本題材を指導するにあたって

本題材は、絵をよく見て、絵について友だちと話し合うことで、自分や友だちの見方や考え方、発想のおもしろさや楽しさに気付く内容である。ここでは、教師が絵の見方を一方的に教え込むのではなく、児童自身が試行錯誤する中で見つけていくようにしていく。そのために、第1時では、一つの絵を学級全体で見て、見つけたことや感じたこと、想像したことなど自由に話し合う。その後、アートカードで一言連想ゲームを行い、グループで楽しく絵を鑑賞し、自分なりのイメージをもって取り組めるようにする。第2時では、アートカードの中から自分のお気に入りの作品を1枚選び、絵を見ながら見つけたことや感じたこと、想像したことなどを伝え合う場面を設定した。作品を見る際に、色、形、イメージの3つの視点を中心に鑑賞するようにする。学級全体での活動の後に、グループでの活動を行うことで、絵を見る観点に気づき、お互いに伝え合うことが容易になり、児童が「自分たちで絵のおもしろさを見つけられた」と思わせることができると考える。さらに、自分たちで見つけたと思う観点ならば、自分の表現に使いたいという思いも引き出せ、意欲的に造形活動に取り組むことができると考える。

また、今回使用するアートカードは、「図画工作教師用指導書学習指導編（日本文教出版）」のものである。児童たちにとって、普段あまり目にすることのない絵画や彫刻などの作品が多いため、作品がより新鮮に感じられ、関心を持って鑑賞活動を行うことができると考える。アートカードでかるた遊びをする活動を通して、友だちと楽しみながら作品を見ることで、自分の見方や感じ方との違いに気づくことができるよう工夫した。

3 学習指導要領上での位置付け

B鑑賞—(1) 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。

ア 自分たちの作品、我が国の諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取ること。

イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴をとらえること。

〔共通事項〕

ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。

イ 色や形などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

4 目標及び評価規準

(1) 目標

絵をよく見て、見つけたり感じたりしたことを話し合う活動を通して、自分や友だちの見方、感じ方の違いに気づき、自分の思いをもって作品のよさや美しさを味わう。

(2) 本題材における〔共通事項〕

ア 描かれているものや形、色から作品のイメージを自分なりにもつ。

イ 色や形などから、自分なりのイメージを膨らませること。

(3) 本題材における評価規準

(◆「努力を要する」と判断される状況 (C) 児童への支援)

※アンダーラインは〔共通事項〕に関連した内容を示す

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
① 自分たちの作品、親しみのある美術作品などのよさや美しさを自分の思いをもって味わおうとしている。	① 感じたことを話したり、話し合ったりしながら、 <u>形や色、表し方の変化、表現の意図や特徴</u> など捉え、 <u>よさや美しさを感じ</u> 取っている。
② <u>親しみのある美術作品を自分らしい見方や感じ方で味わおう</u> としている。	② 友だちの意見を参考にしたり、文章に表したりしながら、親しみのある美術作品のよさや美しさを感じ取っている。
◆自由に発想してよいことを伝えたり、個別に對話しながら見る視点を示し、作品を見られるようにする。	◆対話しながら、作品の色、形、イメージに着目して見るよう助言する。

5 指導と評価の計画 (2時間扱い)

学習活動	造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力	評価の方法 留意点
1 学級全体で一枚の作品を見て気付いたり感じたりしたことを話し合う。グループで一言連想ゲームをする。	自分たちの作品、親しみのある美術作品などのよさや美しさを自分の思いをもって味わおうとしている。	感じたことを話したり、話し合ったりしながら、形や色、表し方の変化、表現の意図や特徴など捉え、よさや美しさを感じ取っている。	行動観察 発言 対話
2 グループで自分のお気に入りの作品を見合い、表現の特徴やよさを見つけたり、話し合ったりする。	親しみのある美術作品を自分らしい見方や感じ方で味わおうとしている。	友だちの意見を参考にしたり、文章に表したりしながら、親しみのある美術作品のよさや美しさを感じ取っている。	行動観察 発言 対話 ワークシート

6 本時の学習指導 (2/2)

(1) 目標

絵をよく見て、見つけたり感じたりしたことを話し合う中で、友だちとの見方や感じ方の違いに気づき、自分の思いをもって作品のよさや美しさを感じ取る。

(2) 準備

○教師 アートカードの中の作品20点、実物投影機、ワークシート

○児童 筆記用具

(3) 展開

過程 時間	学習活動	指導上の留意点 (〔共〕：共通事項に関わる内容)	評価と手だて 【観点】：評価規準【評価方法】 【◎：十分満足できる状況】 【◆：C判断児童への手だて】	準備
導入 10分	1 本時の活動の見通しをもつ。	○一枚の絵を学級全体で鑑賞し、見て、感じたこと、想像したことを話し合う。 ○上部だけを拡大して見せ、描かれていることを焦点化し、その後、全体を見る。 ○鑑賞の視点（色・形・イメージ）を示す。 ○作品のイメージを児童から出てきた言葉を使って、短くまとめる。かるたの読み札となる例を挙げる。		実物投影機 絵「ムンクの叫び」
展開 30分	お気に入りの作品を見つけて、気づいたことや感じたことを話してみよう。 2 気付いたことや感じたことを話し合う。 3 ワークシートに、見つけたことや感じたことを、各自で記入する。 4 気付いたことや感じたことを伝え合う。 【学び合い】	○児童の机を生活班を中心とした4～5人のグループにする。 ○アートカードの中から人物が多いもの、風景画、彫刻作品、抽象画などの趣が異なる20枚の作品から、友だちと自由に見ながら、自分の気に入った作品を一枚選ぶ。 ○作品が重なったときは、一緒に見てよいこととする。 ○ワークシートを配布し、見つけたことや感じたこと、想像したことを書き込むようにする。 ○描かれているものや形、色から自分なりのイメージをもつ。〔共〕 ○友だちに見つけたことや感じたこと、想像したことを伝える。 ○なぜ、そう思ったのか理由をつけて説明するようにする。	【関】親しみのある美術作品を自分らしい見方や感じ方で味わおうとしている。 【行動観察・表現・対話】 ◎積極的に気づいたことや感じたことを見つけ、発表したり話したりして自分なりのイメージを持っている。 ◆見つけたことや感じたこと、想像したことが書けない児童には、色、形、イメージに着目して見るよう助言する。 【鑑】友だちの意見を参考にしたり、文章に表したりしながら、親しみのある美術作品のよさや美しさを感じ取っ	アートカード 20枚 ワークシート

	5 選んだ作品のイメージを短い言葉で紹介しながら、かるた遊びをする。	○友だちが感じたことを聞き、見方や感じ方の違いからさらに、作品のよさを知る。 ○友だちとの見方や考え方の違いから、自分なりのイメージを膨らませる。〔共〕 ○作品のイメージを短い言葉でまとめる。 ○全体場で数名発表させ、どのカードのことか想像し、グループで選ぶ。それぞれの思いやよさについて、全体で共有できるようにする。 ○友だちの色や形の見方や、イメージから作品のよさを深める。〔共〕 ○児童がつくった作品のイメージをかるたの読み札とし、アートカードの作品 20 点を取り札にする。 ○読み札を教師が読み上げ、20 点の作品から合うものをグループで探す。異なるカードを各々が選んだ場合、その理由を話し合わせる。 ○教師は、全部のグループがカードを選んだら、カード番号と作者の児童名も読み上げる。	ている。 ◎形や色、イメージなどを意欲的に発表したり、友だちの発表を自分の気づきや感じ方と比べながら聞いている。 ◆対話しながら、作品の色、形、描いてあるものに着目させイメージを膨らませるよう助言する。	
終末 5 分	6 本時の活動を振り返る。	○ワークシートに本時の活動の振り返りを記入する。		ワーク シート

7 板書計画

アートかるたで楽しもう！ ～見て、感じて、話し合おう～ ☆鑑賞の視点 ①色 ②形 ③イメージ	お気に入りの作品を見つけて、 気づいたことや感じたことを話してみよう 絵 短くまとめると…
---	--

アートかるたで楽しもう！！

～見て、感じて、話し合おう～

年 組 名前()

① お気に入りの作品を一枚選んでみよう。

選んだカード番号()

選んだ理由は？

② よく作品を見てみよう！ 見つけたこと、感じたことを書こう！

どんな形や色のものがある？

それは何みたい？

どんな感じがする？

絵から想像したことは？

③ 思ったことや
感じたことを
短い言葉で書
いてみよう。

【読みふだ】
○はカード番号

今日の学習をふり返って

--

自己評価

よくできた・・・◎

できた・・・○

あまりできなかった・・・△

楽しく学習できましたか。

作品を見て、気づいたことや感じたことをたくさん見つけられましたか。

友だちの感じ方と自分の感じ方のちがいに気づき、作品のよさや美しさを感じることが
できましたか。